

令和3年度 教育事業（指導者等養成研修事業）

教員免許状更新講習（13年目）

1 事業概要

小学校及び中学校の教諭を対象に、2泊3日の講習を実施した。1日目は、学校教育の現状と課題についての講義、カヌー実習を行った。2日目は、肱川河原の岩石や水生生物を教材とした地学及び生物の実習、講義を行った。3日目は、野外炊飯の実習後、体験活動の意義についての講義を行った。

参加者は、学級経営及び教科指導に生かせる体験活動の知識や指導技術を学ぶことができた。

2 事業の目的（ねらい）

地域の自然環境を生かした「生活科」、「理科」、防災や環境をテーマにした「総合的な学習の時間」を指導するために必要な知識や指導技術を身に付け、体験活動の重要性について理解を深め、学級経営に役立つ指導法の習得を目指す。

3 企画のポイント

子供たちの社会性や豊かな人間性を育むためには、発達段階に応じた体験活動の充実を図る必要がある。そのためには、まず教員自らが様々な体験活動を行うことで、必要な知識や指導技術を習得するとともに、その意義を理解することが重要であると考え、体験活動を中心に企画した。

4 主 催 独立行政法人国立青少年教育振興機構 国立大洲青少年交流の家

5 期 日 令和3年8月25日（水）～27日（金）

6 場 所 国立大洲青少年交流の家（肱川カヌー場付近の河原を含む）

7 対 象 小・中学校教諭（養護教諭・栄養教諭は除く）

8 参 加 者 12名

9 講 師 金 瀬 聡 氏（宇和島市教育長）
中島 弘二 氏（愛媛県教育委員事務局社会教育課担当係長・社会教育主事）
佐 野 栄 氏（愛媛大学教育学部 教授）
向 平 和 氏（愛媛大学教育学部 准教授）
国立大洲青少年交流の家 職員

令和3年度 教育事業（指導者等養成研修事業）
【教員免許状更新講習】のお知らせ

◇ 期 日 令和3年8月25日（水）～27日（金） 2泊3日
◇ 会 場 国立大洲青少年交流の家（肱川カヌー場付近の河原を含む）
◇ 対象・定員 小・中学校教諭 40名（先着順）
◇ 費 用 22,290円
（税込）
受講料・教材費：18,000円
食費：3,990円
シーツ洗滞代：300円

◇ 講習内容

期日	講習内容
8月25日（水）	○ 学校教育の現状と課題【講義】 ○ カヌー研修指導の実践【実習】
8月26日（木）	○ 沼原で観察【実習】 岩石・植物及び生物の観察と採集 ○ 地学分野【講義】 採集岩石からの地質推定・四国の地質の説明 ○ 生物分野【実習・講義】 水生生物の観察と測定、環境指標生物などの説明
8月27日（金）	○ 体験活動の指導法【実習】 子どもたちにおける体験活動の意義【講義】

※3日間（18時間）通しての講習となり、3日とも履修認定試験があります。

◇ 参加申込
4月16日（金）正午から、国立大洲青少年交流の家のホームページにて、受講エントリーの受付を開始します。必要事項をご入力の上、お申し込みください。

【申込期間】
※ 令和3年4月16日（金）正午～令和3年5月28日（金）正午
※ 先着順で申込を受け付けます。
※ 申込期間であっても、定員に達した場合は、申込を締め切ります。

10 日程と内容

< 1 日目 > 「教科指導、その他教育の充実に関する事項」 5 時間

8/25 (水)	10:00 10:30 12:00 13:30 16:30 19:00 19:30 22:00									
	受付 ・ 検温	開 講 式	講義 「学校教育 の現状と課 題」	昼 食	実習 「カヌー研修指導の実際」			検温 ・ 夕食	認 定 試 験	入 浴

< 2 日目 > 「教科指導、その他教育の充実に関する事項」 6. 5 時間

8/26 (木)	6:30 9:00 9:15 12:00 13:00 14:15 14:30 16:30 19:00 19:30 22:00											
	起床	検温 ・ 朝食	事務 連絡	実習 「河原で観察」	昼 食	講義 「地学分野」	休 憩	実習・講義 「生物分野」	検温 ・ 夕食	認 定 試 験	入 浴	就 寝

< 3 日目 > 「教科指導、その他教育の充実に関する事項」 6. 5 時間

8/27 (金)	6:30 8:45 9:00 13:00 13:30 15:30 15:45 16:15									
	起 床	検温 ・ 朝食	事 務 連 絡	実習 「体験活動の指導法」 昼食：野外炊飯	休 憩	講義 「体験活の 意義」	休 憩	認 定 試 験	閉 講 式	

11 活動内容

【1 日目】

「学校教育の現状と課題」講師：金瀬 聡 氏

教育をめぐる現状と課題、教育改革等について理解を深め、今後の教育実践につながる知識を学んだ。

「カヌー研修指導の実際」講師：国立大洲青少年交流の家職員

カヌー研修の教育的効果について理解し、児童・生徒の視点に立った指導方法や配慮事項について学んだ。



【2 日目】

「河原で観察」、「地学分野」、「生物分野」講師：佐野 栄 氏、向 平和 氏

大洲大橋下の河原で、岩石及び水生生物に関する観察と採集を行った。参加者は、河原の石から石灰岩やチャート、砂岩等を採す活動を通して、岩石の種類について学んだ。午後からの地学分野では、「河原の石から大地のつくりを探る」と題した講義が行われ、肱川流域の河川地形と河原の様子から自然環境を読み取ったり、採集した河原の岩石から大地の成り立ちを考えたりした。また、生物分野では、採集した水生生物の種名を調べ、環境調査の方法について学んだ。



【3日目】

「体験活動の指導法」講師：国立大洲青少年交流の家職員

体験活動における安全管理の基本として、リスクマネジメントについて研修を深めた。活動前と活動中の安全管理及び事故への対応方法についても意見交換を行った。

また、野外炊飯場でカレー作りを行った。参加者の中には、交流の家に子供たちを引率した際に野外炊飯を指導している方もいたが、「安全管理の視点に立った活動展開については改めて考えさせられた」という声があった。野外炊飯前にリスクマネジメントに関する研修を行ったことが効果的であったと思われる。



「子供たちにおける体験活動の意義」講師：中島 弘二 氏

「子供の心をはぐくむ体験活動」と題した講義が行われ、無人島体験事業の体験談を通して、体験活動の必要性和教育的効果について学んだ。

12 参加者の声《免許状更新講習受講者評価書》より

- 4：よい（十分満足した・十分成果を得られた）
- 3：だいたいよい（満足した・成果を得られた）
- 2：あまり十分でない（あまり満足しなかった・あまり成果を得られなかった）
- 1：不十分（満足しなかった・成果を得られなかった）

1. 本講習の内容・方法について

4：よい66.4%、3：だいたいよい33.2%、2：あまり十分でない0%、1：不十分0%

2. 本講習を受講したあなたの最新の知識・技能の習得の成果についての総合的な評価

4：よい74.7%、3：だいたいよい24.9%、2：あまり十分でない0%、1：不十分0%

3. 本講習の運営面について評価

4：よい91.3%、3：だいたいよい8.3%、2：あまり十分でない0%、1：不十分0%

- ☐ コロナ禍の中無理して運営していただいたことに感謝します。
- ☐ とても楽しい講習でした。
- ☐ 座学よりずっと心に残る研修になりました。

13 事業の成果

今年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大により感染対策をいかにして本事業を実施するかが課題となった。実施場所の変更や参加者同士の接触をできるだけなくした活動を実施することで、参加者に不安を与えることなく活動することができ、感染症対策での対応を評価していただいた。また、事前のセルフチェックシートの活用や座席の固定等、今後実施される事業モデルの一つになった。

14 事業の課題

現行の教員免許状更新講習は来年度で最後となるため参加者はかなり減少すると思われる。その状況下で次年度も開催するかをまず検討する必要がある。また、新型コロナウイルス感染症が完全に終息するとは思えないため、募集人員の制限や日帰りの実施等も視野に入れ、社会状況を考慮し、安心して参加できるような企画や運営について検討する必要がある。

（担当：企画指導専門職 倉松 新）